

# 他分野に技術応用

茨城県と福島県の「原発関連企業」が、原発液  
存を脱却しようと、長年培った技術を活用して異  
分野の事業を開拓している。これまで原発の施設  
建設や機器製造、システム管理などに関わってき  
た企業のひとつは、東京電力福島第一原発事故  
以降、全国の原発が停止した影響で収益が大幅に  
落ち込んだ。今後は原発再稼働が見過せないこと  
から、「いつまでも原発に頼ってはいられない」と  
新規ビジネスに業績回復の活路を見いだしてい  
る。

【上江洋範】



擦り用の水素水生成器を手にするS.P.エンジニアリングの原社長（茨城県日立市の同社）

## 原発関連企業サバイバル

原子炉の定期検査用機  
器を製造してきた茨城県  
日立市の「S.P.エン  
ジニアリング」（従業員  
35人）は昨年、教社と  
共同で老朽防止や美容な  
どに効果があるとされる  
水素水の携帯用生成器  
を開発した。円柱形の容  
器に入れたアルミニウム  
と酸化カルシウムの粉末  
に水を加えて水素をつく  
り、容器内の圧力を高め  
て水素を溶かすと、市販  
の数倍の濃度の水素水  
が約3分で作れる。原子  
炉内などの圧力調整技術  
が生きたという。1セッ  
ト（30回分）を1万50  
00円で内部のドラッ  
グストアなどで販売し、  
1万セット以上が売れ  
た。

## 美容に効果の水素水生成器 全自動で放射性物質を検査



全自動の検査装置で放射性物質の付着を調べ除染作業員  
＝県内の除染作業現場で、東北エックス機提供

南国データバンク（東  
京）の調査では、原発関  
連企業は2011年6月  
時点で山形県を除く46都  
道府県に2258社あっ  
た。日本原子力発電東海  
第2原発をはじめ多くの  
原子力施設が集中する茨  
城県には201社あり、  
東京都（574社）に次  
ぎ全国2位だった。S.  
P.エンジニアリングは  
収益の3割を原発関連事  
業に依存してきたが、原  
発事故後は受注が激しく  
った。同社の泉富栄社長  
（60）は「原発の再稼働は  
見通せないのが現状。健  
康・美容事業を収益の柱  
にしていきたい」と話し  
、福島市の仮事務所  
への移転を余儀なくされ  
た。

同社は事故後、公共施  
設の放射線測定などを請  
け負ってきたが、収益と  
従業員数は事故前の9割  
減になり、経営立て直し  
のため13年からは放射線  
測定機器の販売事業に本  
格的に参入。最も力を入  
れているのが除染作業員  
の放射性物質の付着を調  
べる全自動の検査装置。  
通常は複数の検査員が機  
器を手に持って行うが、  
全自動だと検査時間が約  
2分から約20秒に短縮。  
測り漏れがないうえ、人  
件費も削減できるとい  
う。

同社業務部の野田保夫  
部長（60）は「放射線のフ  
ロとして、機器の効果的  
な使い方の説明や販売後  
のメンテナンスをできる  
のが他社にはない強み。  
原発で培った技術で活路  
を見いだしていこう」と話  
している。

## 避難の苦痛陳述中、失神

仙台地裁 原発事故損害訴訟で

福島第一原発事故で、飼犬や匹は嵐絶  
避難を余儀なくされ精  
え、人けのない街は家  
神的苦痛を受けたとし  
畜や野犬が徘徊回って  
から仙台市に避難して

いる原告の岡部利一さ  
ん（60）も意見陳述。故  
郷を失った無念さを訴  
えるために裁判を起こ  
したと述べた。仙台地  
裁では、さらに避難者  
23人が年内に追加提訴  
する予定。【伊藤直幸】

## 富士通アイソテック初V

え猪電の買い取り中断  
への具体的な対応を檢  
討するため、委員7人  
からなる専門部会（部  
会長・横山隆一早稲田  
大大学院教授）を設け  
た。県は18日にも会  
議を開き、提言内容を  
取りまとめる方針。  
【小林洋子】

福島支局など後援、福  
島メッセ協議会協賛）  
は9日、南相馬市野球  
場で準決勝と決勝の計  
3試合があった。決勝  
では、同県8回裏に  
打者9人の猛攻で4得  
点を挙げた富士通アイ  
ソテックが初勝利を収  
めた。

整形外科・リハビリテーション科  
**小野整形外科**  
院長 小野英徳